

# 申込集計表

## 資料2-1

集計日：2025年02月03日

様式名	成年後見制度に関する実態把握調査			
集計期間	2025年01月16日～2025年01月31日			
回答数	101	依頼数	163	回答率 62.0%

郵送依頼	2025年1月14日	163通
メール依頼	2025年1月15日	117通
メール再依頼	2025年1月28日	63通

### 事業種別

回答	介護保険等サービス	障害福祉サービス	医療機関・その他
回答数	71	28	2
依頼数	115	43	5

### 介護保険等サービス

回答	1. 訪問系サービス	2. 通所系サービス	3. 短期入所系サービス	4. 居住・施設系サービス	5. 複合サービス	6. 地域包括支援センター
回答数	26	3	2	26	9	12
依頼数	49	-	-	43	10	13

### 障がい福祉サービス

回答	1. 訪問系サービス	2. 通所系サービス	3. 短期入所系サービス	4. 居住系サービス	5. 児童系サービス	6. 相談支援事業所
回答数	1	2	3	19	0	9
依頼数	-	-	-	30	-	13

### 医療機関・その他

回答	1. 病院・診療所	2. その他
回答数	2	0
依頼数	5	

### 所属する連絡会や定例会議

回答	○茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会	○医療部会	○介護支援専門員部会	○施設部会	○通所部会	○訪問部会	○地域密着部会	○防災対策対策委員会
回答数	36	0	22	6	1	2	3	5
回答	茅ヶ崎市障害者施設連絡会	茅ヶ崎市・寒川町居宅介護事業所連絡会	茅ヶ崎市・寒川町ホーム連絡会	茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会	地域作業所連絡会	茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	精神保健福祉事務所連絡会	◇自立支援協議会
回答数	8	4	12	0	0	8	3	9
回答	◇代表者会議	◇運営会議	◇就学後の相談のしくみ部会	◇就労・生活支援部会	◇くらしの基盤強化部会	◇当事者部会(カラフル)	◇事業所間交流・情報発信部会	◇相談支援部会
回答数	5	6	1	2	4	0	2	6

○は茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会に所属する部会

◇は自立支援協議会を構成する会議・部会

○ 問1 成年後見制度をご存じですか。

\* 太枠線 設問5個以下 上位1位 設問6個以上 上位3位とした。

回答	1. 制度の概要を知っている	2. 名前は知っているが詳しくは知らない	3. 全く知らない
回答数	95	6	0

制度の概要を知っているが95%と多数であった。

○ 問2 貴事業所では、成年後見制度に関する相談を受けたことがありますか。

回答	1. ある	2. ない
回答数	65	36

成年後見制度に関する相談を受けたことあるが事業所が6割を超えている。

○ 問2-2 問2で「1.ある」と答えた方へお聞きします。  
どなたから相談を受けたことがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

回答	1. 本人	2. 親族	3. 友人・知人	4. 支援者(包括、ケアマネ等)(具体的な内容を入力してください。)	5. その他(具体的な内容を入力してください。)
回答数	29	53	3	21	4

親族からの相談が多く、次いで本人、支援者の順となった。

(具体的な内容)

回答4. 支援者についてはケアマネ(うち9)が多かった。

○ 問2-3 問2で「1.ある」と答えた方へお聞きします。  
その内容はどのようなものでしたか。該当するものすべてに○をつけてください。

回答	1. 法定後見制度(※1)について	2. 任意後見制度(※2)について	3. 財産管理(金銭管理・銀行の手続き・不動産管理や処分等)について	4. 病院・施設等の手続きについて	5. 相続について	6. 消費者被害について	7. 本人の将来準備(不安)について	8. 主介護者や障がいのあるお子さんの親亡きあとの将来不安について
回答数	54	33	39	25	11	12	32	20
回答	9. すでに後見人等がいる方の後見人等との関係について	10. その他(具体的な内容を入力してください。)						
回答数	9	3						

財産管理、将来準備の相談内容の多さの順は成年後見支援センターの相談傾向と通じる(令和5年度実績財産管理138件、将来準備104件)

○ 問2-4

問2で「1.ある」と答えた方へお聞きします。

その時にどのように対応しましたか。該当するものすべてに○をつけてください。

回答	1. 制度の説明をした	2. 制度の利用手続きを支援した	3. 成年後見支援センターを紹介した	4. 市社会福祉協議会を紹介した	5. 上記3.4以外の支援機関を紹介した(具体的な内容を入力してください。)	6. 支援機関へ同行した	7. 専門職を紹介した(弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士)	8. その他(具体的な内容を入力してください。)
回答数	51	29	35	11	5	13	20	7

相談を受けたことがある65件に対し、各機関で1制度説明約8割、2手続き支援4割超、成年後見支援センター紹介5割超を行っていただいた。ほか士業や市社協を紹介いただいている。

今後、成年後見支援センターほか必要なところへの紹介につながるよう周知を進める。

(具体的な内容)

回答5. 上記3、4以外(住宅型有料老人ホーム相談員)ほか

回答8. その他(地域包括支援センターや保険者に相談した。/銀行へ同行)など

○ 問2-5

問2-4で「6.支援機関へ同行した」に○をつけた方へお聞きします。

貴事業所の対応について、お答えください。

回答	1. 原則、同行する	2. 必要に応じて同行する	3. 原則、同行しない
回答数	1	12	0

必要に応じて同行対応いただいている。

○ 問3

貴事業所の利用者に、成年後見制度を利用している人はいますか。

回答	1. いる	2. いない
回答数	59	42

回答事業所の約6割は成年後見制度の利用者がいる。

○ 問3-2

問3で「1.いる」と答えた方にお聞きします。貴事業所と後見人等との関係性に該当するものすべてに○をつけてください。

回答	1. 必要な時に連絡をとることができる	2. 必要な時に「後見人等を含めた」ケース会議を開催できる	3. 後見人等の役割が不明確で連携の取り方がわからない	4. 後見人等の判断に不安を感じることがある(具体的な内容を入力してください。)	5. その他(具体的な内容を入力してください。)
回答数	58	30	0	5	2

事業所と成年後見人の関係については、必要な対応をしていただいている。

(具体的な内容)

回答4. 後見人等の判断に不安を感じること

- ・本人と任意後見人として契約後成年後見人への移行が進まない。本人も「他の人に頼めないか。」と認知症ながらも相談することがある。
- ・住む場所をご本人にGH体験してみても判断してもらおうとしたが、経済的に難しいと体験もさせてもらえなかった。
- ・金銭搾取(疑い)からの避難も入居目的の1つであった入居者への不特定多数友人知人の面会要請に適切な後見人判断が得られなかった事がある
- ・書類等に署名は出来るが、入院や通院は対応できない

○ 問4 貴事業所では成年後見制度の利用(手続き)で次のような支援をしたことがありますか。

回答	1. 本人情報シートの作成	2. 診断書取得のための支援(受診調整・同行など)	3. 必要書類(住民票・戸籍謄本等)取得のための支援	4. 専門職(弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士)の紹介	5. その他(具体的な内容を入力してください。)	6. ない
回答数	51	44	14	30	9	36

本人情報シートの作成や診断書取得の支援のほか、専門職へつないでいただいている。

(具体的な内容)

回答5. その他

- ・本人情報シートの記載をケアマネジャーへ依頼
- ・法テラスまで同行して弁護士と相談した
- ・市の成年後見支援センター窓口まで同行し、必要書類が高齢の家族の為に記載できないことがあり、記載場所を伝えながら共に作成した。その他必要な官公庁から取り寄せる書類申請代行も行わざるを得なかった。
- ・家裁からの連絡事項などについて、理解が難しい部分について説明など

○ 問5 貴事業所に、成年後見制度を利用していないが、本人の判断能力が十分でないと思われる人で、次に当てはまる人はいますか。

該当するものすべてに○をつけてください。

回答	1. 預貯金の引き出しができない	2. 公共料金等、必要な支払いを滞納している	3. 商品を次々購入する等、収入に見合った適切な支出ができない	4. 必要な書類等(保険証・通帳・手帳等)をたびたび紛失する、または紛失したと主張する	5. サービス利用契約等を理解できず、利用が進まない	6. 必要な医療・介護・福祉サービスの全部、または一部を拒否している	7. 日常的な金銭管理を超える法律行為(不動産の処分・相続手続きなど)を行うことができない	8. 消費者被害にあったことがある、またはあう可能性が高い
回答数	48	33	40	44	37	26	36	39
回答	9. 経済的虐待を受けている、または疑いがある	10. 「9.経済的虐待以外」の虐待(身体的・精神的・性的・ネグレクトなど)を受けている、または疑いがある	11. その他困難な事情があるが、適切に対応できていない(具体的な内容を入力してください。)	12. いない				
回答数	18	14	6	30				

預金の引き出し、必要書類の紛失等生活に必要なことに対しての課題が出ている。

(具体的な内容)

回答11. その他困難な事情があるが、適切に対応できていない

- ・在宅生活が破綻している状況を支援者、関係者が認識していても、本人が適切な支援を希望せず、拒否もあるが、理解力は乏しい為、支援者がリスクを感じていても具体的な対応ができない。
- ・家族、親族がおらず、身元保証会社と契約はしているが、その契約自体の理解も乏しくなっている。
- ・近隣住民とのトラブル・ギャンブル依存
- ・グループホームにおいて、基本的に契約や更新においてご本人が対応することは確認する程度で、ご家族または身元引受人が行い、施設管理者やケアマネジャーが対応可能な部分を行っている。
- ・施設入所をしたいが、本人の判断能力低下について自宅売買に支障が生じた
- ・身寄りがなく、入院時等の保証人になる人がおらず困った
- ・親族身寄りがいない、または支援に消極的

○ 問5-2

問5で1～11に「○」をつけた方にお聞きます。

次に該当する人はいますか。該当するものすべてに○をつけてください。

回答	1. 認知症または明確な診断はないものの認知症が疑われる者	2. 知的障がい者または明確な診断はないものの知的障がい疑われる者	3. 精神障がい者または明確な診断はないものの精神障がい疑われる者	4. その他(具体的な内容を入力してください。)
回答数	46	28	29	9

(具体的な内容)

回答4. その他 危機管理能力の低下が疑われる者/家族が精神障害/ご家族が高齢で、手続き等滞ることがある。

○ 問5-3

問5で1～11に「○」をつけた方にお聞きます。

貴事業所ではどのような対応をしましたか。該当するものすべてに○をつけてください。

回答	1. 通帳預かり	2. 預貯金引出し	3. 生活費管理	4. 入退院手続き	5. 必要な書類等(保険証・通帳・手帳等)の各種手続き	6. 生活に必要な支払い(公共料金等)の支援	7. その他(具体的な内容を入力してください。)	8. 成年後見支援センターに相談した
回答数	13	15	15	25	37	27	16	28
回答	9. 専門職(弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士)に相談した	10. 上記8.9以外に相談した(具体的な内容を入力してください。)						
回答数	20	18						

書類の各種手続き、支払い、入退院の手続き等、本人の生活等の維持のために各種支援をいただいている。相談先として、センター、士業へ相談いただいている。

イレギュラーな状況が続くものについては、解決が図られるよう制度利用等進めていく必要がある。

(具体的な内容)

回答7. その他

- ・支援者で集まり対応を協議し、連携して対応した
- ・必要最低限のサービス利用で調整。
- ・生活保護申請支援
- ・保険の申請
- ・銀行への同行
- ・安心センターへの移行(一旦)
- ・クーリングオフ
- ・日常生活必需品等の代理購入

(具体的な内容)

回答10. 上記8.9以外に相談した

- ・消費生活センターや市役所高齢福祉課、地域福祉課と連携し対応した。
- ・保険者など行政
- ・虐待案件等は包括支援センターや保険者に相談報告した。経済的なことはキーパーソンに相談した。
- ・あんしんセンター
- ・保証協会等に相談。
- ・遠方の家族と連携した
- ・認知症初期集中支援チーム員会議へ事例提出

## ○ 問5-4

問5-3で1～7に[○]をつけた方にお聞きします。

貴事業所が問5-3の対応することになった要因に該当するものすべてに○をつけてください。

回答	1. 頼れる親族がい ないから	2. 親族はいるが、協 力を得ることが困難 だから	3. サービスを利用す るための財産が本人 にないから	4. 成年後見制度の 利用を考えたが、制 度利用につながらな かったから	5. 他の関係機関によ る制度やサービスで 対応できなかったから	6. 事業所で対応可 能な範囲だったから	7. その他(具体的な 内容を入力してくだ さい。)
回答数	36	42	16	18	18	20	6

事業所が対応することになった要因としては、親族がいない、いても対応いただけないが多かった。また、事業所で対応可能な範囲との回答もあった。

(具体的な内容)

回答7. その他

- ・成年後見人申請書類が全部グルホの仕事になる 本人は全くできない(大変な仕事が増加する)
- ・判断能力は落ちているが出来ないわけではなく補助、保佐類型が妥当と思われる利用者で、制度説明するが利用意向が得られない
- ・社協の日常的金銭管理サービスを使ってみたが、途中で拒否があり利用停止となった。

## ○ 問5-5

問5-4で「4.成年後見制度の利用を考えたが、制度利用につながらなかった」に○を付けた方にお聞きします。

成年後見制度の利用につながらなかった理由に該当するものすべてに○をつけてください。

回答	1. 本人が利用を希 望しなかったから	2. 親族が利用を希 望しなかったから	3. 本人または親族が 成年後見制度の「手 続き」に不安があった から	4. 本人または親族が 成年後見制度の「費 用」に不安があったか ら	5. 診断書を取得でき る医療機関につな がらなかったから	6. 他の支援で対応で きたから(具体的な内 容を入力してくださ い。)	7. 申立人が見つから なかったから	8. その他(具体的な 内容を入力してくだ さい。)
回答数	15	8	4	11	3	1	0	1

制度利用につながらなかった理由としては、本人が希望しない、費用面の不安が多かった。また、親族が希望しないも理由としてあがった。

## ○ 問6

成年後見支援センターを知っていますか。

回答	1. 事業内容を知って いる	2. 名前は知っている が、事業内容は知ら ない	3. 知らない
回答数	77	12	12

「2. 名前は知っているが、事業内容は知らない」「3. 知らない」に向けた周知が必要。

なお、上記2, 3の回答は介護、障がいともに居住系サービスの事業所が多かった。

## ○ 問7

成年後見支援センターでは、成年後見制度に関する専門相談※を実施しています。利用の意向はありますか？

回答	1. 利用したい	2. 必要に応じて利用 したい	3. 利用は考えていな い
回答数	14	77	10

概ね、利用の意向があった。引き続き有効活用されるように周知を図る。

## ○ 問8

成年後見支援センターでは、成年後見制度について事業所向けの出前講座※を実施しています。利用の意向はありますか？

回答	1. 希望する	2. 検討する	3. 希望しない	4. その他
回答数	7	54	32	8

「1.希望する」を中心に実施に向け声掛けをしていく。